



技術を最高に活かすのは情熱だった。

株式会社 奄美大島開運酒造
代表取締役 渡 博文

事業開始当初は、酒づくりの知識も業界の常識もわからないため、大変多くの方々のご支援を頂きながらの船出となりました。

製造技術については、工業技術センターへスタッフを派遣し、又、笠沙の杜氏を技術顧問としてご紹介いただき、焼酎造りの基本を徹底的に指導して頂きました。おかげさまで今年11年目を迎えました。

勿論現状で満足しているわけではありません。お客様のニーズはますます高次なものとなり、私たちにはそれに応えていく義務と責任があるからです。

黒糖焼酎の市場浸透率はまだ低く、これからの新しい出会いの中でキチンと評価を頂くために、日々切磋琢磨していかなくてはならないと思っています。技術の追求は終わりなき課題です。

これまでの技術向上、品質向上、有効資源の活用への取り組みにおいては、工業技術センターとの連携を計り、焼酎残渣からの商品の共同開発では、「黒糖醸造酢」の製法特許商品を生み出しました。今後も更なる連携を計り、新しいものへの追求を続けていきたいと思えます。

技術の進展はあらゆるものを可能にしていく鍵であると確信していますが、併せて重要なのは「想い」・「情熱」・「背景」ではないかと考えています。

振り返れば、素人集団がここまで成長してることが出来たのも、若くて熱い情熱が、大自然の中で、人と人、夢と夢をつなぎ、価値ある時を穏やかに、そして着実に変えてきたからだと思っています。

私たち奄美大島開運酒造にはビジョンがあります。これを奄美大島開運酒造の使命として全社で徹底し、中期の経営計画なども策定しています。

その骨子となる考え方が「宇検村コネクション」です。私たちのルーツとも言える「宇検村」。

この地に生まれ、この地に育ち、この地とともに大きく羽ばたいていくのが私たちの望みです

そこで「宇検村」の恵みを素材に、「宇検村」という美しい場所で、「宇検村」が永遠に人にエネルギーと安らぎを与え続けられるように、私たちが出来ることを全力で行おうという考え方を基盤にしているのです。計画の中では「宇検村コネクション」と呼称して全ての行動規範の礎としています。

最新の技術と誰にも負けない情熱が融合するところに、人々に喜んでもらえるゴールが見えてくると私は信じています。

技術に感謝、そして私たちを包み込んでくれる「宇検村」に感謝。



黒糖焼酎製造場正面



宇検工場（黒糖焼酎，健康飲料，黒糖）全景